

令和7年度下総飛行場周辺航空機騒音
実態調査業務委託

調査報告書
(概要版)

令和8年2月

目 次

	頁
第1章 調査概要 -----	1
1-1 調査件名 -----	1
1-2 調査目的 -----	1
1-3 調査地点 -----	1
1-4 調査期間 -----	1
第2章 下総飛行場の概要 -----	2
2-1 名称 -----	2
2-2 所在地 -----	2
2-3 敷地面積 -----	2
2-4 滑走路 -----	2
2-5 主要機種 -----	2
2-6 運用状況 -----	2
2-7 下総飛行場の位置づけ -----	5
第3章 調査地点の概要 -----	6
3-1 名称 -----	6
3-2 所在地 -----	6
3-3 調査地点の状況 -----	6
第4章 調査内容 -----	11
4-1 調査方法 -----	11
4-2 データ整理方法 -----	12
4-3 データ解析方法 -----	13
4-4 評価方法 -----	14
第5章 調査結果 -----	16
5-1 調査期間中の気象状況 -----	16
5-2 航空機騒音調査結果 -----	20

資料編

- 資料1 航空機騒音調査状況写真
- 資料2 航空機騒音に係る環境基準
- 資料3 航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定

第1章 調査概要

1-1 調査件名

下総飛行場周辺航空機騒音実態調査業務委託

1-2 調査目的

下総飛行場周辺における航空機騒音の鎌ヶ谷市における騒音影響の実態を把握することを目的とする。

1-3 調査地点

鎌ヶ谷市南初富 1-16-1 (鎌ヶ谷市立五本松小学校屋上) : 1 地点

1-4 調査期間

航空機騒音調査期間 令和7年11月28日(金)～令和7年12月11日(木)

連続14日間

第2章 下総飛行場の概要

下総飛行場の概要は、「令和5年度下総飛行場周辺航空機騒音実態調査業務委託 調査報告書, 令和7年3月」から引用し記載する。

2-1 名称

海上自衛隊下総航空基地

2-2 所在地

千葉県柏市藤ヶ谷 1614 番地 1 (敷地は鎌ヶ谷市の一部を含む。)

2-3 敷地面積

約 262ha

2-4 滑走路

長さ 2,250m × 幅 45m

2-5 主要機種

固定翼機 P-3C、P-1 (ともに哨戒機)

2-6 運用状況

(1) 飛行訓練

海上自衛隊の航空士、操縦士の教育訓練用飛行場として使用されている。

(2) 他自衛隊との共同運用

陸上自衛隊第一空挺団が習志野駐屯地において降下訓練を行う際は、航空自衛隊所属のC-2、C-130Hが下総飛行場から飛行する。



哨戒機 P-3C



哨戒機 P-1

参考写真出典：海上自衛隊HP (<https://www.mod.go.jp/msdf/equipment/aircraft/>)



輸送機 C-2



輸送機 C-130H



飛行点検機 U-680A

参考写真出典：航空自衛隊 HP (<https://www.mod.go.jp/asdf/equipment/>)

2-7 下総飛行場の位置づけ

下総飛行場は、自衛隊等専用の飛行場としてタイプ2に区分されている。タイプ別の飛行場一覧を表2-7-1に示す。

表 2-7-1 タイプ別の飛行場一覧

令和元年7月現在

タイプ	種別	名称
タイプ1の飛行場	会社管理空港	成田国際、中部国際、関西国際、大阪国際
	国管理空港	東京国際、釧路、函館、仙台、新潟、広島、高松、松山、高知、福岡、北九州、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
	特定地方管理空港	旭川、帯広、秋田、山形、山口宇部
	地方管理空港	女満別、青森、花巻、庄内、福島、富山、松本、静岡、神戸、南紀白浜、鳥取、出雲、岡山、佐賀
	その他の空港	調布
タイプ2の飛行場	固定翼航空機が主として使用する飛行場	八戸、松島、横田、入間、 下総 、厚木、浜松、静浜、岐阜、防府、小月、芦屋、築城、新田原、鹿屋、嘉手納
	回転翼航空機が主として使用する飛行場	旭川、十勝、大湊、霞目、宇都宮、相馬原、霞ヶ浦、木更津、立山、立川、舞鶴、明野、小松島、大村、目達原、普天間
タイプ3の飛行場	国管理空港	稚内
	地方管理空港	中標津、紋別、大館能代、能登、福井、石見
	その他の空港	但馬、岡南、天草、大分県央
	非公共用飛行場	鹿部、竜ヶ崎、ホンダエアポート
タイプ4の飛行場	公共用ヘリポート	豊富、米沢、群馬、高崎、栃木、つくば、東京都東京、静岡、津市伊勢湾、若狭、奈良県、広島、枕崎
	非公共用ヘリポート	青森県庁、宮城県庁、茨城県庁、兵庫県庁、岡山県庁、大分県庁、ほか
タイプ5の飛行場	国管理空港	那覇
	その他の空港	名古屋、八尾
	共用空港	札幌、千歳、三沢、百里、小松、美保、徳島、岩国

引用：「航空機騒音測定・評価マニュアル（令和2年3月、環境省）、附録3」

第3章 調査地点の概要

3-1 名称

鎌ヶ谷市立五本松小学校 屋上

3-2 所在地

鎌ヶ谷市南初富1-16-1

3-3 調査地点の状況

今回の調査地点と周辺位置関係について図 3-3-1 に示す。調査地点は図 3-3-2 に示すとおり下総飛行場の滑走路中心から南約 2.7km に位置する鎌ヶ谷市立の小学校である。周囲は戸建住宅が立地している。校舎西側に南北に走る都市計画道路（船橋安孫子バイパス線）がある。図 3-3-3 に示すとおり下総飛行場の航空機騒音に係る環境基準の地域類型 I の内側に位置し、用途地域は図 3-3-4 に示すとおり第 1 種低層住居専用地域に立地している。音環境は、下総飛行場を離着陸する航空機を特定騒音としたとき、調査地点西側の都市計画道路の交通騒音が主な暗騒音となる。都市計画道路はマイクロホン設置場所から直接見渡せる位置関係ではないが、幅員の広い道路であるため交通量は多い。調査地点西側及び北側に鉄道線路が 3 路線あり、稀ではあるが列車通過音が記録されるケースもあった。

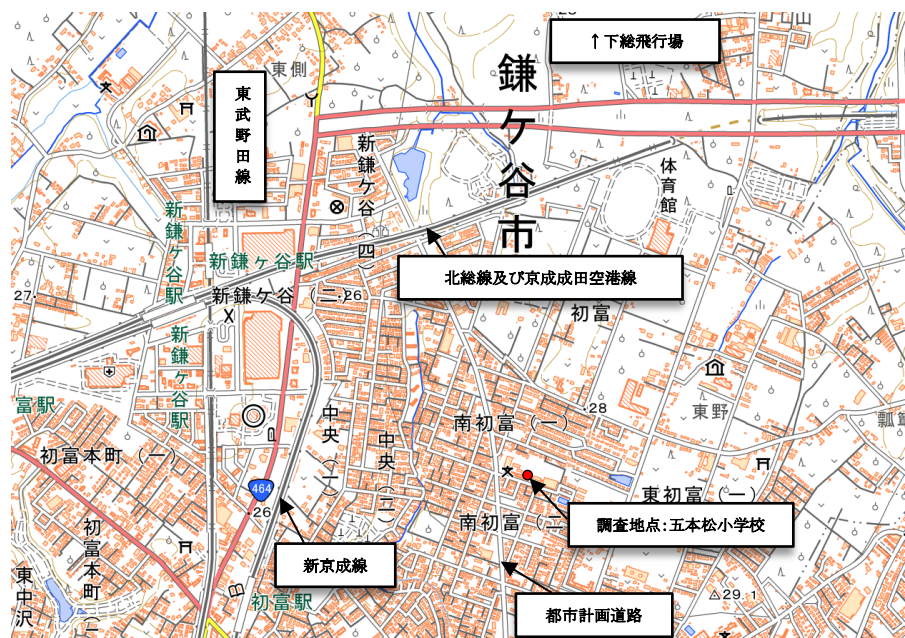


図 3-3-1 五本松小学校と周辺地域地図

(国土地理院 地理院タイルに測定地点位置及び名称・道路名称・鉄道路線名称・飛行場名称を追記して掲載)

調査地点の概要は表に示すとおりである。

表 3-3-1 調査地点の概要

調査地点	所在地	用途地域	滑走路中心からの距離	滑走路延長線からの距離	環境基準 類型
鎌ヶ谷市立 五本松小学校 屋上	鎌ヶ谷市南初富 1-16-1	第1種低層住居専用地域	約2.7km	約0.3km	I

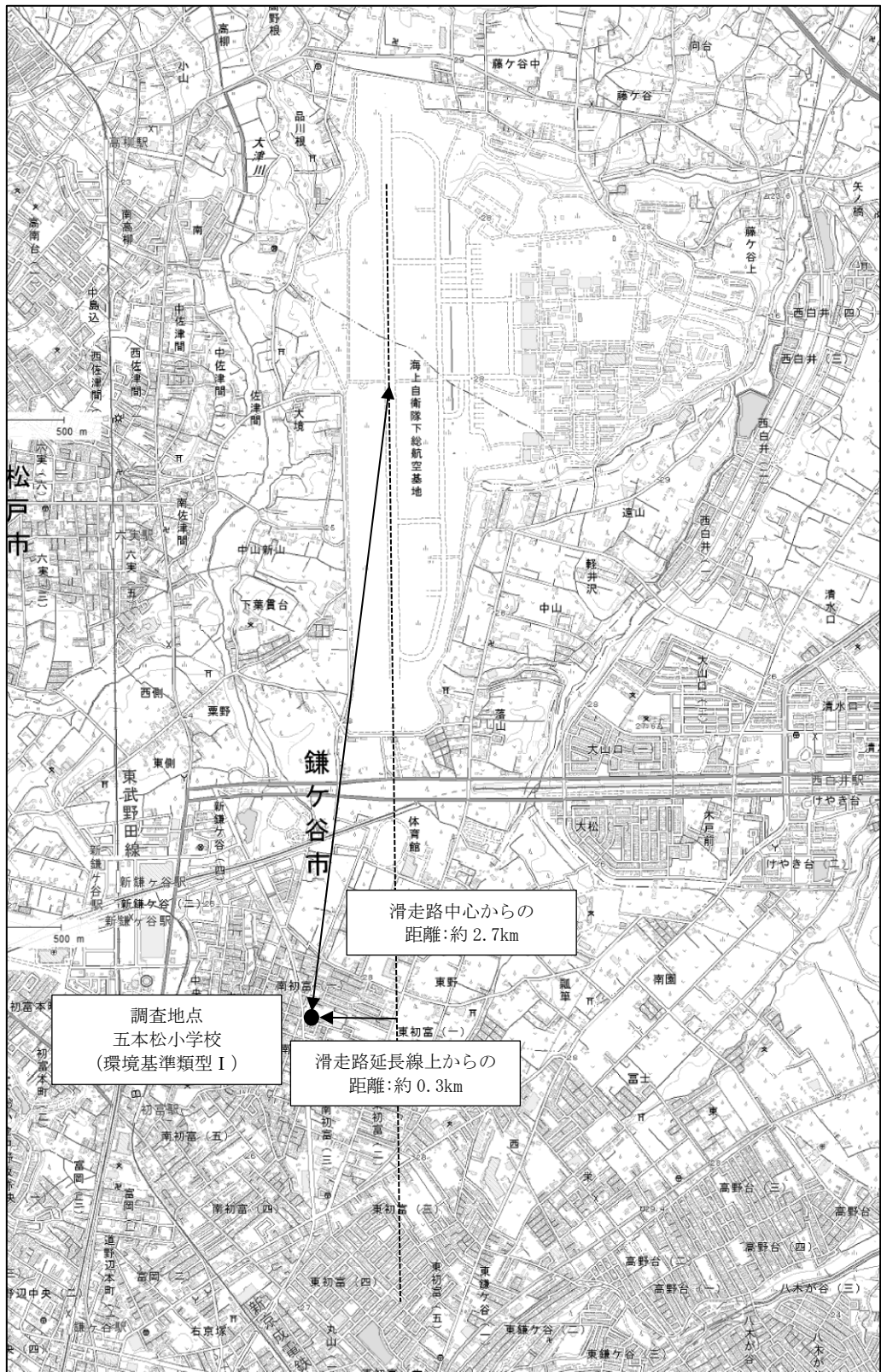


図 3-3-2 調査地点配置図

(基図 白井、2万5千分の1地形図、国土地理院)

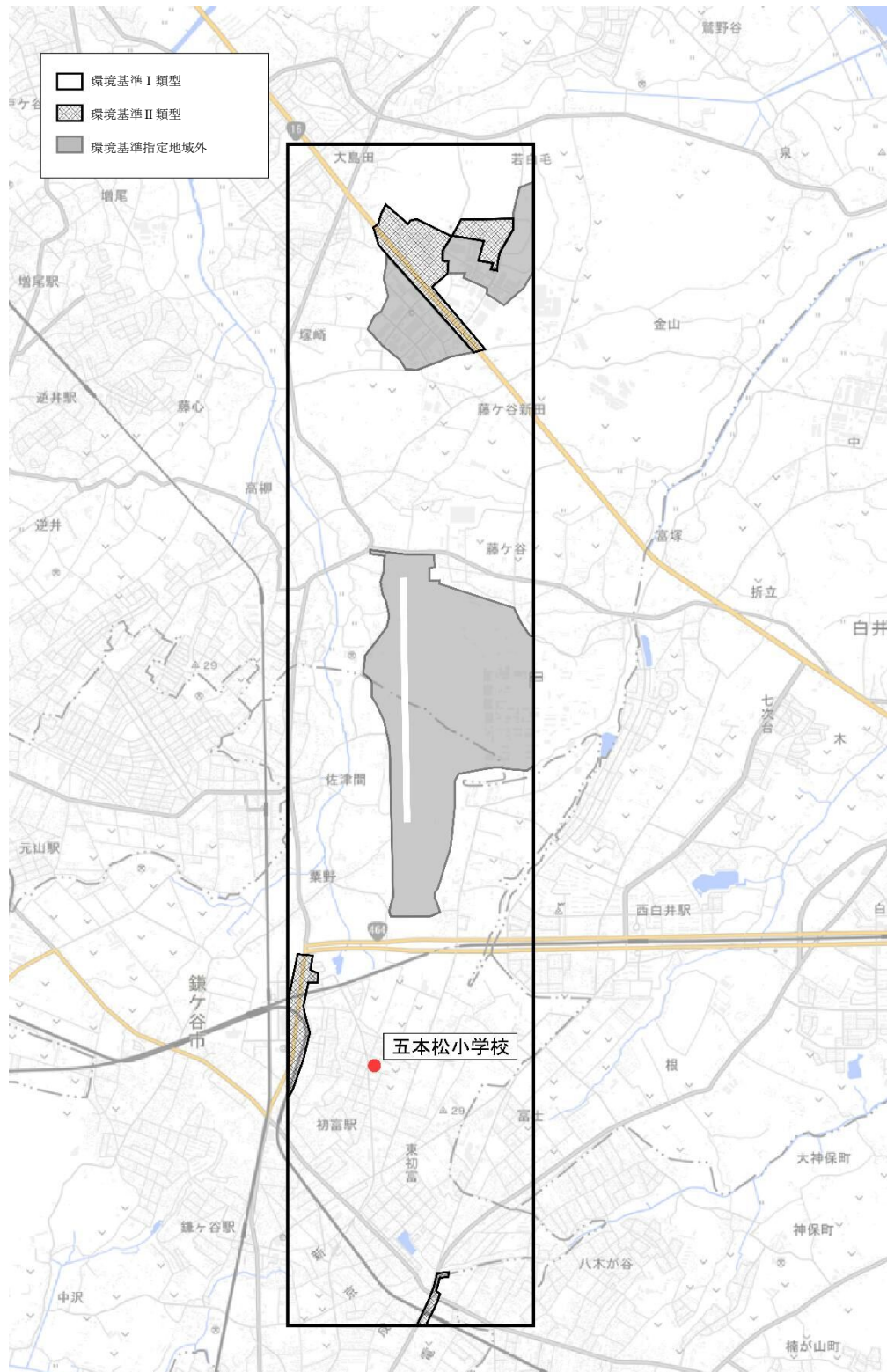
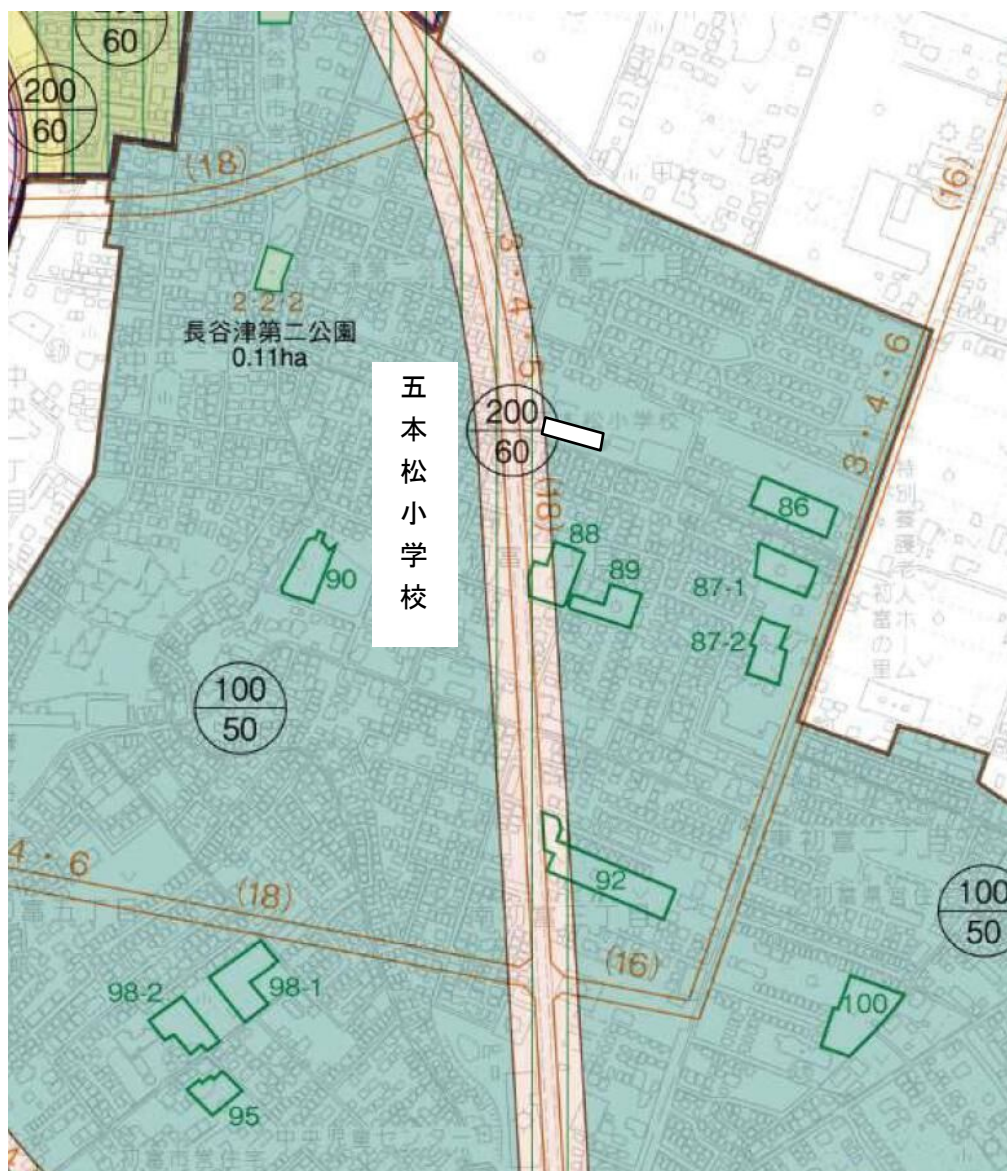


図 3-3-3 下総飛行場 航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域指定状況
 (基図 地理院地図 (淡色地図)、国土地理院)



凡 例

用 途 地 域	第1種低層住居専用地域	
	第1種中高層住居専用地域	
	第1種住居地域	
	第2種住居地域	
	準住居地域	
	近隣商業地域	
	商業地域	
	準工業地域	

五本松小学校は第1種低層住居専用地域に立地

図 3-3-4 都市計画図

資料：「鎌ヶ谷都市計画図」（令和6年11月、鎌ヶ谷市役所）

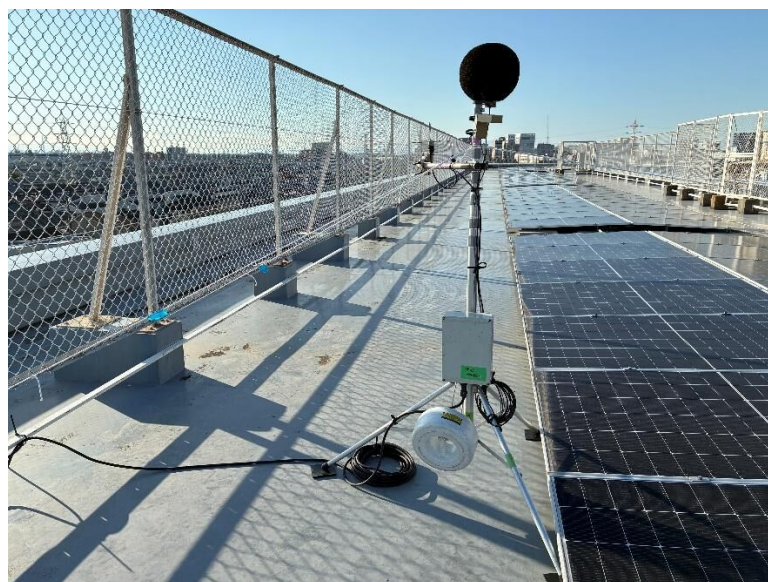
第4章 調査内容

4-1 調査方法

航空機騒音の調査は、「航空機騒音測定・評価マニュアル（令和2年3月,環境省）」に準拠し実施した。

(1) 騒音計の設置

騒音計のマイクロホンの設置場所は、測定対象となる航空機の飛行経路の主要部分を見渡せる五本松小学校の屋上とし、反射の影響を無視できる程度に小さくするために、設置面（屋上面）以外の反射物から原則として3.5m以上離れた位置に設置し、屋上面からの設置高さは1.5mとした。



マイクロホン設置状況

(2) 騒音計の動作確認

測定の開始前後にピストンホン及び音響校正器を用いて騒音計が表示した値を点検し、音響校正信号と騒音計の内部校正信号との差が $\pm 0.7\text{dB}$ 以上であった場合には、その騒音計は測定に使用しないこととした。

(3) 騒音計の設定

騒音計の周波数重み付け特性をAに、時間重み付け特性をS（SLOW）に設定した。

使用した測定機材は表 4-1-1 に示すとおりである。

表 4-1-1 使用した測定機材

項目	内容
■可搬型航空機騒音自動測定装置 DL-100/LEPT (日本音響エンジニアリング(株)製)	
■可搬型航空機騒音自動測定装置 DL-100/LE(T) (日本音響エンジニアリング(株)製)	
精密騒音計	LA-4440 (株小野測器製)
全天候防風スクリーン	LA-0206 (株小野測器製)
航空機接近検知識別装置	RD-90 (日本音響エンジニアリング(株)製)

※12月5日測定装置の故障により測定装置の交換を行った。

測定期間 11月28日 00:00～12月05日 05:10 (DL-100/LEPT)

測定期間 12月05日 11:25～12月11日 23:59 (DL-100/LE(T))

4-2 データ整理方法

測定・評価の対象とする騒音は、下総飛行場を離着陸する航空機による飛行騒音とし、飛行騒音以外は暗騒音として扱う。また、下総飛行場周辺で観測される航空機エンジン等の地上騒音は、調査地点においても観測されたため測定・評価の対象とした。

(1) 単発騒音の検出方法

飛行騒音は単発騒音であり、この単発騒音の最大騒音レベルのうち、暗騒音レベルから 4dB 以上大きいものを測定対象とし、そのうち暗騒音レベルから 10dB 以上大きいものを集計対象とした。暗騒音レベルは 10 分間における騒音レベルの 90% 時間率騒音レベル $L_{A90,10min}$ とした。併せて、航空機接近検知識別装置より出力される航空機通過時の情報 (トランスポンダ応答信号に含まれる航空機の飛行高度及びスコークコード) を解析し、騒音測定器が記録した全ての単発騒音データから航空機騒音データを抽出した。さらに測定器が記録した全てのデータの実音を聴取し、航空機騒音に重畳する妨害音の有無を確認した。

(2) 単発騒音暴露レベルの算出

単発騒音暴露レベル L_{AE} は、「1 秒間平均騒音レベルのデジタル記録から求める方法 (Ⅱ型騒音計)」を用いて算出し、デジタル値の少数第 2 位以下を四捨五入して小数点以下第 1 位までの値で表した。

・1 秒間平均騒音レベルのデジタル記録から求める方法 (Ⅱ型騒音計)

1 秒間平均騒音レベルのデジタル記録から単発騒音の区間を抽出し、単発騒音暴露レベル L_{AE} を次式により算出する。ただし、単発騒音の区間は、1 秒間平均騒音レ

ベルが $(L_{\text{Aeq}, 1s, \text{max}} - 10)$ dB 以上の時間範囲とした。

$$L_{\text{AE}} = 10 \log_{10} \left(\sum_k 10^{\frac{L_{\text{Aeq}, 1s, k}}{10}} \right) \quad (1) \text{ 式}$$

※ $L_{\text{Aeq}, 1s, \text{max}}$ は 1 秒間平均騒音レベル $L_{\text{Aeq}, 1s, k}$ のうちの最大値、 $L_{\text{Aeq}, 1s, k}$ は 1 秒間平均騒音レベルの k 番目の値

単発騒音の最大騒音レベルの算出方法は、0.1s 以下のサンプル間隔 Δt で測定された騒音レベルのデジタル記録から単発騒音の区間を抽出し、その最大値を求めた。

4-3 データ解析方法

データ解析は以下の手順で行った。

(1) 総合騒音の時間平均騒音レベルの算出

- ・ 1 秒間平均騒音レベルのデジタル記録から求める方法

N 個の 1 秒間平均騒音レベル $L_{\text{Aeq}, 1s, k} (k=1 \sim N)$ から、平均時間 T ごとの短時間平均騒音レベル $L_{\text{Aeq}, T}$ を次式により算出し、デシベル値の少数第 2 位を四捨五入して小数点第 1 位までの値で表す。

$$L_{\text{Aeq}, T} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_{k=1}^N 10^{\frac{L_{\text{Aeq}, 1s, k}}{10}} \right) \quad (2) \text{ 式}$$

(2) 総合騒音の時間帯別等価騒音レベルの算出

平均時間 T ごとの短時間平均騒音レベル $L_{\text{Aeq}, T}$ から、昼間(7:00~19:00)における総合騒音の時間帯別等価騒音レベル $L_{\text{Aeq}, d, \text{total}}$ を次式により算出する。

$$L_{\text{Aeq}, d, \text{total}} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N_d} \sum_{k=1}^{N_d} 10^{\frac{L_{\text{Aeq}, T, k}}{10}} \right) \quad (3) \text{ 式}$$

ここに、 N_d は昼間における平均時間 T の短時間平均騒音レベルの総数である。夕方(19:00~22:00)、夜間(0:00~7:00、22:00~24:00)の総合騒音の時間帯別等価騒音レベル $L_{\text{Aeq}, e, \text{total}}$ 、 $L_{\text{Aeq}, n, \text{total}}$ については、上式の N_d を N_e あるいは N_n に置き換えて算出する。

4-4 評価方法

時間帯補正等価騒音レベルの算出は以下の通りとした。

(1) 測定日ごとの時間帯補正等価騒音レベルの算出方法

1日の間に発生する騒音のうち、昼間(7:00~19:00)、夕方(19:00~22:00)、夜間(0:00~7:00、22:00~24:00)の各時間帯に測定された単発騒音の単発騒音暴露レベルを(4)式により算出し、デシベル値の少数第2位以下を四捨五入して小数点以下第1位までの値で表す。

$$L_{\text{den}} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{\text{AE},di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{\text{AE},ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{\text{AE},nk}+10}{10}} \right) \right\} \quad (4) \text{式}$$

ここに、 i, j, k はそれぞれ昼間、夕方、夜間の時間帯に発生した単発騒音を表す添え字。 $L_{\text{AE},di}$ 、 $L_{\text{AE},ej}$ 、 $L_{\text{AE},nk}$ は、それぞれの時間帯での i 番目、 j 番目、 k 番目の単発騒音レベル。 T_0 は基準の時間(1s)、 T は観測1日の時間(86400s)。

上記の計算と同時に、測定日における時間帯別等価騒音レベル(昼間等価騒音レベル、夕方等価騒音レベル、夜間等価騒音レベル)を(5)式により算出し、小数点以下第1位までの値で記録する。

$$L_{\text{Aeq},T} = 10 \log_{10} \left(\frac{T_0}{T} \sum_i 10^{\frac{L_{\text{AE},i}}{10}} \right) \quad (5) \text{式}$$

時間帯 $T(t1 \sim t2)$ の間に発生した単発騒音暴露レベル $L_{\text{AE},i}$ から、等価騒音レベル $L_{\text{AE},T}$ を求める。ここに、 i は i 番目に発生した単発騒音を表す添え字。 T_0 は基準の時間(1s)。

測定対象となる航空機騒音が測定されず、データ数が0であった場合、その日の時間帯補正等価騒音レベルの欄は、空欄又は横線引きとし、値を算出できなかったことを明示する。

(2) 測定期間の時間帯補正等価騒音レベルの算出方法

測定日ごとの時間帯補正等価騒音レベルから、測定期間の時間帯補正等価騒音レベルを(6)式により算出し、当該測定地点における評価量(時間帯補正等価

騒音レベル) とし、デシベル値の少数第 1 位以下を四捨五入して整数値で表す。

$$\bar{L}_{\text{den}} = 10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_i 10^{\frac{L_{\text{den},i}}{10}} \right) \quad (6) \text{ 式}$$

ここに、 i は各測定日を表す添え字、 $L_{\text{den},i}$ は各測定日ごとの時間帯補正等価騒音レベル、 N は測定日数 (連続 14 日間を基本とする)

測定対象となる航空機騒音が測定されず、データ数が 0 であった日は、その日の騒音暴露量が 0 であったとみなし、そのまま測定期間に算入する。

第5章 調査結果

5-1 調査期間中の気象状況

調査期間中の平均気温及び天気概況は、表に示すとおりであり、千葉特別地域気象観測所の観測記録を用いて整理した。

調査期間中の主風向及び平均風速は、表 5-1-1 及び表 5-1-2 に示すとおりであり、下総飛行場南西側にある船橋丸山大気環境常時監視測定局（一般局）の観測記録を用いて整理した。調査期間中は、約 18%は北西の風の状況であり、続いて北北西（約 12%）の風の状況であった。各調査日の平均風速は 0.6～2.6 (m/s) という状況であった。

表 5-1-1 調査期間中の気象の状況

調査年月日	千葉特別地域気象観測所		船橋丸山 大気環境 常時監視測定局（一般局）	
	平均気温 (°C)	天気概況 昼(6～18時)	主風向	平均風速 (m/s)
R7. 11. 28 (金)	15.4	晴れ	北西	1.6
R7. 11. 29 (土)	12.4	晴れ時々曇り	データなし	データなし
R7. 11. 30 (日)	12.2	晴れ	データなし	データなし
R7. 12. 1 (月)	14.5	晴れ時々曇り	南	1.0
R7. 12. 2 (火)	14.3	晴れ時々曇り	北西	1.4
R7. 12. 3 (水)	12.0	曇り時々雨	北西	1.8
R7. 12. 4 (木)	7.8	晴れ	北西	2.6
R7. 12. 5 (金)	8.0	晴れ	北西	0.8
R7. 12. 6 (土)	8.1	晴れ	北西	0.6
R7. 12. 7 (日)	9.4	晴れ	北北西	0.8
R7. 12. 8 (月)	11.5	晴れ時々曇り	南南西, 南	1.1
R7. 12. 9 (火)	10.1	晴れ時々曇り	北東	0.8
R7. 12. 10 (水)	8.9	晴れ	東北東	1.0
R7. 12. 11 (木)	11.3	曇りのち晴れ	南南西	2.2

引用1 千葉特別地域気象観測所：気象庁ホームページ 気象統計情報 天気概況 昼(6～18時)は、1時間ごとの天気概況をもとに推定し記入

引用2 船橋丸山大気環境常時監視測定局：環境省大気汚染物質広域監視システム そらまめくん <https://soramame.env.go.jp> 令和7年11月28日1時～令和7年12月11日24時

注1 主風向は、各調査日の1時～24時までの1時間ごとの風向記録を集計し、主風向を示したものである。「静穏」は、風速0.3m/s未滿を指す。

注2 平均風速は、各調査日の1時～24時までの1時間ごとの風速記録を集計し、整理したものである。

注3 船橋丸山大気環境常時監視測定局の風向及び風速データが令和7年11月28日14時以降、11月29日1日分、11月30日1日分、12月1日12時まで、12月4日11時台、12月5日11時台欠測していた。

表 5-1-2 調査期間中の風向風速の状況

(期間 令和 7 年 11 月 28 日 1 時～令和 7 年 12 月 11 日 24 時(14 日間), 1 時間ごとのデータを集計)

		N	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	静穏	合計
2週間	風向(%)	3.9	4.5	3.0	5.1	2.4	0.9	1.5	0.9	1.8	5.1	0.9	1.2	1.5	7.1	18.2	12.5	8.0	78.3
	風速(m/s)	0.8	0.7	1.1	1.3	1.1	1.1	0.7	0.7	1.2	2.5	1.3	0.7	0.8	1.4	1.7	1.2	0.1	1.3
11月28日 (金)	風向(%)	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	12.5	4.2	54.2
	風速(m/s)	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.7	2.1	2.0	0.1	1.6
11月29日 (土)	風向(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	風速(m/s)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11月30日 (日)	風向(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	風速(m/s)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12月1日 (月)	風向(%)	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	12.5	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	0.0	50.0
	風速(m/s)	1.0	-	-	-	-	-	0.3	-	0.9	1.3	1.0	-	1.1	-	1.2	1.3	-	1.0
12月2日 (火)	風向(%)	8.3	12.5	4.2	20.8	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	29.2	8.3	8.3	100.0
	風速(m/s)	1.0	0.8	1.7	1.9	0.8	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	2.1	0.1	1.4
12月3日 (水)	風向(%)	0.0	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	16.7	33.3	12.5	12.5	100.0
	風速(m/s)	-	1.1	0.9	-	0.2	-	0.0	-	-	-	-	0.4	-	0.8	1.1	0.6	0.1	1.8
12月4日 (木)	風向(%)	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	45.8	16.7	12.5	95.8
	風速(m/s)	0.4	0.3	-	-	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	4.2	3.3	0.8	0.1	2.6
12月5日 (金)	風向(%)	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.8	25.0	20.8	16.7	95.8
	風速(m/s)	-	1.2	0.3	-	-	0.7	-	-	-	-	-	-	-	0.8	1.4	1.2	0.1	0.8
12月6日 (土)	風向(%)	4.2	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	8.3	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	29.2	16.7	8.3	100.0	
	風速(m/s)	0.7	0.5	-	0.7	-	-	1.2	0.6	-	0.5	-	-	0.3	0.8	0.8	0.5	0.1	0.6
12月7日 (日)	風向(%)	0.0	4.2	0.0	8.3	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	4.2	16.7	16.7	16.7	8.3	100.0
	風速(m/s)	-	0.3	-	0.5	0.5	-	0.7	0.7	-	1.2	-	-	1.7	0.6	1.1	0.9	0.1	0.8
12月8日 (月)	風向(%)	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	8.3	4.2	8.3	0.0	12.5	12.5	16.7	12.5	100.0
	風速(m/s)	0.5	-	-	-	-	-	-	0.7	1.5	1.8	1.9	0.6	-	1.4	0.9	1.3	0.1	1.1
12月9日 (火)	風向(%)	8.3	12.5	25.0	4.2	12.5	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	12.5	16.7	100.0
	風速(m/s)	0.5	0.9	1.1	2.1	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.6	0.2	0.8
12月10日 (水)	風向(%)	4.2	8.3	4.2	20.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	29.2	16.7	12.5	100.0
	風速(m/s)	1.0	0.7	1.4	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.3	1.1	1.6	0.2	1.0
12月11日 (木)	風向(%)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	0.0	8.3	8.3	8.3	20.8	0.0	100.0
	風速(m/s)	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	-	-	0.6	1.1	1.6	1.3	-	2.2

引用：船橋丸山大気環境常時監視測定局：環境省大気汚染物質広域監視システム そらまめくん
<https://soramame.env.go.jp> (期間 令和 6 年 11 月 25 日 1 時～令和 6 年 12 月 8 日 24 時)

注 1： 風向は割合 (%) を示し、風速は各風向の平均風速 (m/s) を示す。

注 2： 船橋丸山大気環境常時監視測定局の風向及び風速データが令和 7 年 11 月 28 日 14 時以降、11 月 29 日 1 日分、11 月 30 日 1 日分、12 月 1 日 12 時まで、12 月 4 日 11 時台、12 月 5 日 11 時台欠測していた。

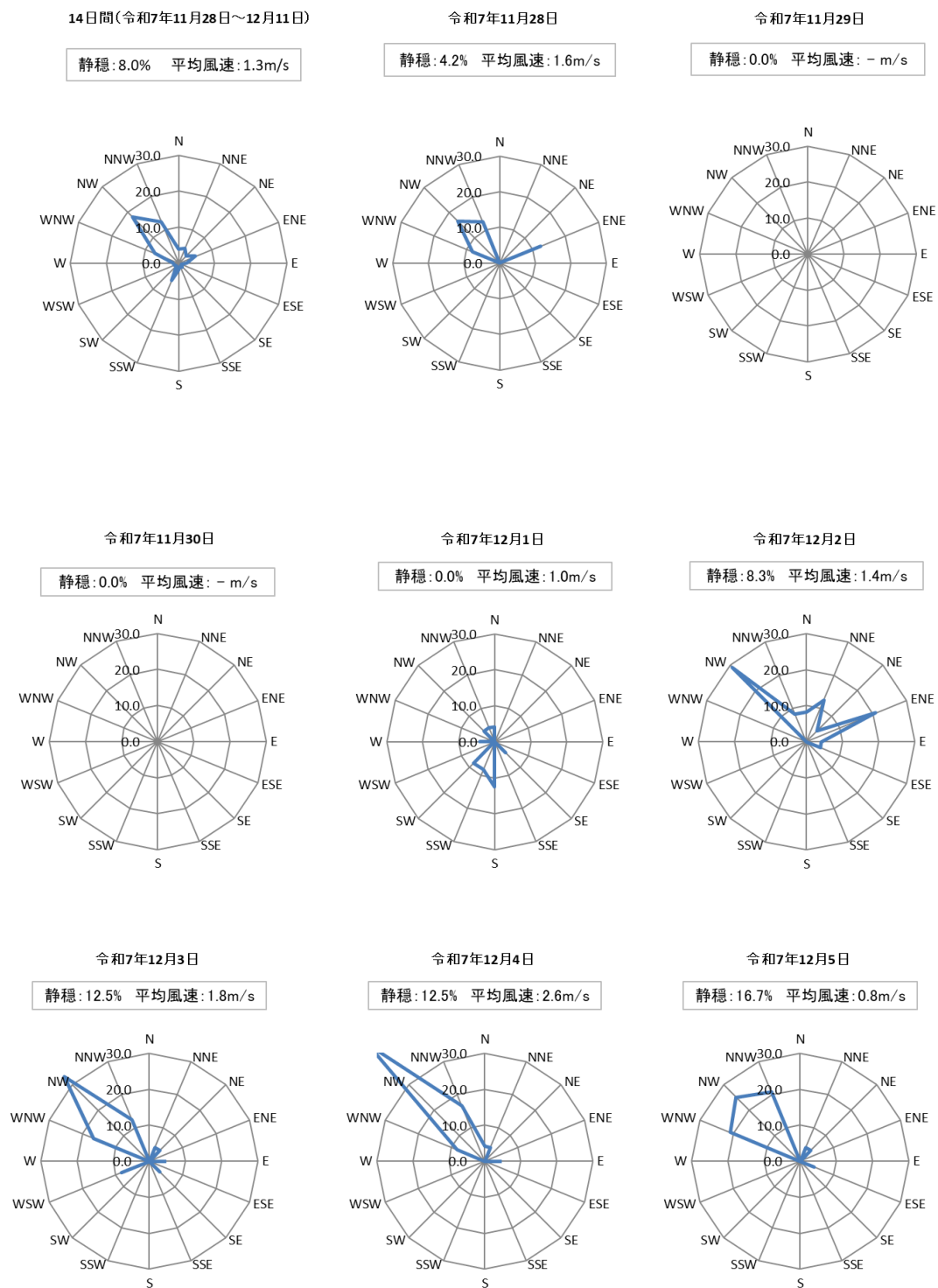


図 5-1-1 調査期間中の風配図 (1 / 2)

注 1 船橋丸山大気環境常時監視測定局の 1 時間ごとの風向風速記録を集計し作図

注 2 船橋丸山大気環境常時監視測定局の風向及び風速データが令和 7 年 11 月 29 日及び 30 日欠測していた。そのため 11 月 29 日及び 30 日の風配図はグラフデータが表示されていない

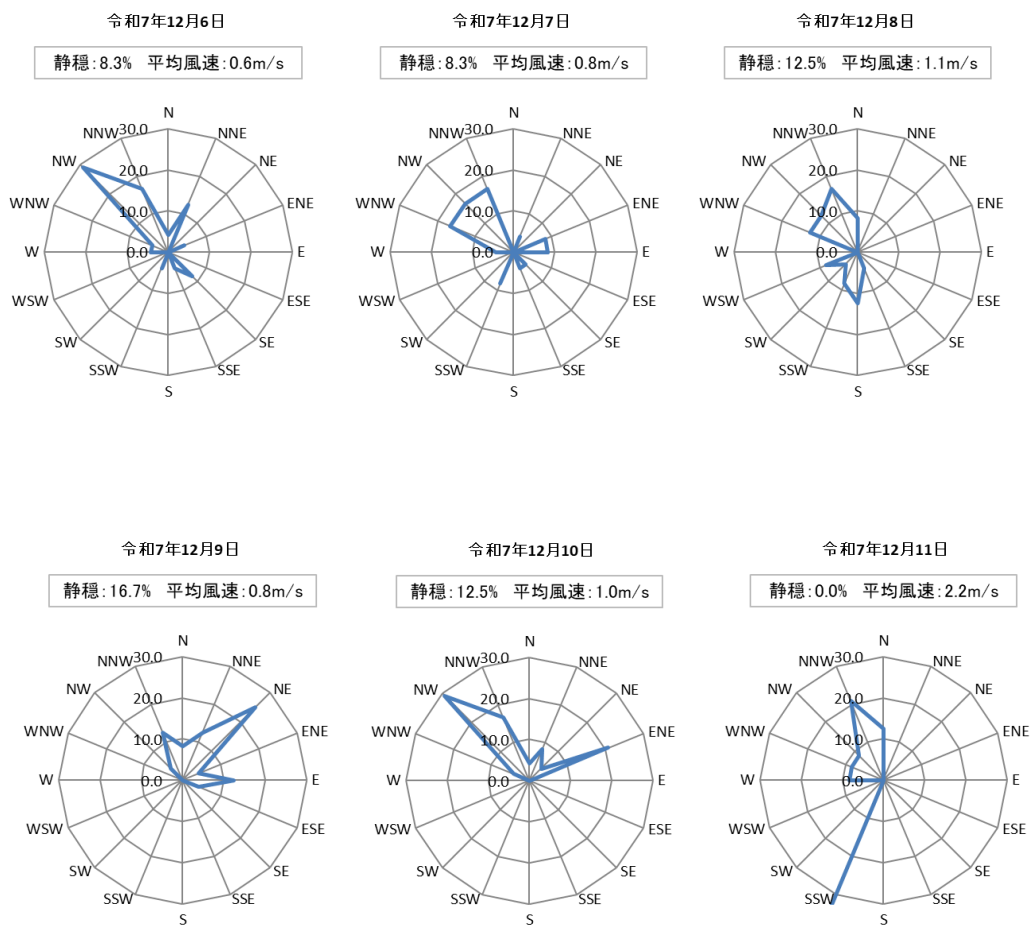


図 5-1-2 調査期間中の風配図 (2 / 2)

注 1 船橋丸山大気環境常時監視測定局の1時間ごとの風向風速記録を集計し作図

5-2 航空機騒音調査結果

(1) 環境騒音測定結果

調査期間前後の2日間（設営日：11月26日及び撤収日：12月12日）について、航空機飛来による騒音の影響が無い状況での環境騒音測定を行った。測定は航空機騒音自動測定装置 DL-100/LE の環境騒音測定機能にて実施した。測定は騒音レベルを5秒毎に50回読み取り、最大騒音レベル、最小騒音レベル、時間率騒音レベル及び等価騒音レベルを算出した。測定中に航空機の飛来があった場合は測定を一時中断し、航空機騒音の影響が無視できるレベルになったことを確認してから測定を再開させた。測定結果を表5-2-1に示す。

表 5-2-1 調査期間前後の環境騒音測定結果

測定日	L_{A5}	L_{A10}	L_{A50}	L_{A90}	L_{A95}	L_{Amax}	L_{Amin}	L_{Aeq}
11月26日	50.5	49.7	47.0	44.1	43.9	51.8	43.1	47.0
12月12日	50.6	49.5	47.5	45.5	45.0	57.0	44.3	48.6

測定時間は、11月26日については13:57~14:07、12月12日については12:23~12:28の間に実施した。

(2) 日別・時間帯別騒音発生回数

調査期間中の騒音発生回数は、表 5-2-2 に示すとおりである。

表 5-2-2 日別・時間帯別騒音発生回数

測定日	時間帯別騒音発生回数 (回)				合計
	夜間 0～7時	昼間 7～19時	夕方 19～22時	夜間 22～24時	
11/28(金)	0	6	0	0	6
11/29(土)	0	0	0	0	0
11/30(日)	0	0	0	0	0
12/1(月)	0	18	0	0	18
12/2(火)	3	17	0	0	20
12/3(水)	0	18	4	0	22
12/4(木)	2	19	0	0	21
12/5(金)	0	11	0	0	11
12/6(土)	0	13	0	0	13
12/7(日)	0	0	0	0	0
12/8(月)	0	22	0	0	22
12/9(火)	0	19	0	0	19
12/10(水)	0	18	0	0	18
12/11(木)	0	0	4	0	4
合計	5	161	8	0	174

※ 令和7年11月29日(土)、11月30日(日)、12月7日(日)については、下総飛行場南側を離着陸する航空機及び下総飛行場内の航空機から発生する騒音は観測されなかった。

(3) 航空機騒音の最大騒音レベル等

調査日別の最大騒音レベル、発生時刻、暗騒音、単発騒音暴露レベル等は表5-2-3(1)～(11)に示すとおりである。なお、令和7年11月29日(土)、11月30日(日)、12月7日(日)については、下総飛行場南側を離着陸する航空機及び下総飛行場内の航空機から発生する騒音は観測されなかった為、表は省略した。また表の「離着陸区分」における「その他」とは、飛行方向の判別ができなかったが実音聴取において航空機と識別されたものを示す。

表 5-2-3(1) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年11月28日

調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	13:58:56	55.4	44.1	66.7	51.1	37	その他
2	14:00:10	74.3	44.1	82.3	70.0	17	着陸
3	14:05:53	77.2	46.7	85.1	73.7	14	着陸
4	16:43:28	59.7	45.0	66.2	56.2	10	その他
5	16:45:36	78.4	45.8	86.7	75.3	14	着陸
6	16:46:23	58.7	46.0	69.4	56.6	19	地上音
最大騒音レベル[dB] 最大:78.4 最小:55.4 平均:74.0			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:43.6 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 40.6	

表 5-2-3(2) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月1日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	12:53:44	80.1	43.9	87.0	77.0	10	離陸
2	16:18:39	78.9	45.5	86.7	75.2	14	離陸
3	16:23:57	77.9	46.3	85.7	73.9	15	離陸
4	16:29:15	77.7	45.7	85.3	73.8	14	離陸
5	16:35:46	76.8	47.2	85.3	73.0	17	離陸
6	16:41:19	78.0	46.4	86.1	74.0	16	離陸
7	16:46:56	74.7	46.8	83.6	71.1	18	離陸
8	16:53:14	77.4	46.6	85.7	73.4	17	離陸
9	16:58:24	75.1	46.6	85.1	72.1	20	離陸
10	17:04:15	77.3	47.6	85.7	73.7	16	離陸
11	17:09:47	78.2	47.2	87.1	74.6	18	離陸
12	17:35:24	77.5	48.7	86.1	74.1	16	離陸
13	17:40:49	76.0	48.2	85.4	72.8	18	離陸
14	17:45:57	75.3	47.2	84.5	71.5	20	離陸
15	17:51:18	74.1	45.4	83.6	71.0	18	離陸
16	17:56:38	74.7	47.5	84.1	70.7	22	離陸
17	18:02:02	76.9	47.3	86.6	74.3	17	離陸
18	18:07:52	76.3	45.9	84.2	72.2	16	離陸
最大騒音レベル[dB] 最大:80.1 最小:74.1 平均:77.1			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:51.8 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 48.7	

表 5-2-3(3) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月2日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	06:54:59	61.5	50.9	72.7	57.8	31	地上音
2	06:56:26	62.7	50.9	70.7	58.6	16	地上音
3	06:58:37	63.7	52.0	72.9	60.1	19	地上音
4	16:11:29	77.9	45.5	85.1	74.3	12	着陸
5	16:16:57	76.1	45.2	83.4	72.6	12	着陸
6	16:21:57	79.2	46.7	86.9	76.9	10	着陸
7	16:27:37	78.1	45.9	86.0	74.8	13	着陸
8	16:33:05	73.5	45.8	82.6	69.8	19	着陸
9	16:38:32	73.7	45.8	82.6	70.0	18	着陸
10	16:43:39	79.1	45.4	83.1	74.7	7	着陸
11	16:49:03	73.8	44.8	82.5	71.0	14	着陸
12	17:02:28	73.7	45.2	82.7	71.2	14	着陸
13	17:09:21	57.5	45.8	63.8	53.8	10	その他
14	17:11:01	76.1	46.0	84.3	72.2	16	着陸
15	17:16:29	76.9	45.3	84.3	73.2	13	着陸
16	17:21:52	76.1	46.6	84.3	72.8	14	着陸
17	17:27:27	73.6	47.9	82.1	69.8	17	着陸
18	17:32:51	74.4	44.8	83.1	70.5	18	着陸
19	17:38:33	73.4	45.6	82.1	70.7	14	着陸
20	17:44:08	72.7	45.0	82.1	69.8	17	着陸
最大騒音レベル[dB] 最大:79.2 最小:57.5 平均:75.1			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:49.5 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: 31.9			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 47.0	

表 5-2-3(4) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月3日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	14:36:02	77.7	48.6	85.3	73.6	15	着陸
2	16:35:16	59.8	46.1	65.6	57.2	7	その他
3	16:36:46	78.2	46.1	86.6	74.5	16	着陸
4	16:41:36	83.5	45.8	90.8	80.8	10	着陸
5	16:45:46	74.6	47.6	83.0	70.7	17	着陸
6	16:47:07	77.9	47.6	86.7	74.6	16	着陸
7	16:48:05	61.0	47.6	73.1	57.9	33	地上音
8	16:50:39	74.7	49.9	83.0	71.0	16	着陸
9	16:53:11	61.0	49.4	67.2	58.8	7	地上音
10	16:53:56	63.5	49.4	74.6	59.7	31	地上音
11	16:55:29	75.6	49.0	82.8	71.0	15	着陸
12	17:00:14	73.6	46.7	83.0	70.2	19	着陸
13	17:24:46	75.2	47.2	85.2	71.0	26	着陸
14	17:30:06	75.5	48.2	84.2	72.2	16	着陸
15	17:35:21	76.1	46.5	84.8	72.2	18	着陸
16	17:40:30	73.7	47.8	83.2	70.0	21	着陸
17	17:47:05	76.6	46.7	84.9	72.4	18	着陸
18	17:47:52	59.8	47.0	70.4	55.3	32	地上音
19	19:53:46	65.6	43.3	76.5	61.9	29	その他
20	20:05:08	66.3	43.1	76.8	61.1	37	その他
21	20:15:25	68.0	45.4	77.7	63.7	25	その他
22	20:26:57	76.8	43.2	86.6	73.4	21	その他
最大騒音レベル[dB] 最大:83.5 最小:59.8 平均:75.5			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:50.4 $L_{Aeq, e}$:47.5 $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 48.9	

表 5-2-3(5) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月4日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	06:58:49	61.5	47.2	74.8	58.3	45	地上音
2	06:59:33	60.3	47.9	71.5	57.3	26	地上音
3	07:01:03	62.5	48.3	69.2	58.8	11	地上音
4	12:34:32	72.2	43.4	82.0	69.4	18	その他
5	14:20:57	71.1	44.0	80.2	67.9	17	着陸
6	14:26:24	70.7	44.9	79.5	68.0	14	着陸
7	14:31:59	75.2	42.7	79.7	71.9	6	着陸
8	14:37:23	69.8	43.5	78.9	66.1	19	着陸
9	14:43:12	74.4	41.5	80.8	69.7	13	着陸
10	14:48:31	70.5	42.0	79.1	67.0	16	着陸
11	14:53:36	72.1	48.3	79.8	68.1	15	着陸
12	15:05:04	71.3	41.8	79.4	67.6	15	着陸
13	15:10:05	72.0	41.8	80.2	68.5	15	着陸
14	15:15:02	71.5	42.7	80.6	68.6	16	着陸
15	15:20:07	68.3	43.2	77.8	65.2	18	着陸
16	15:26:18	75.4	44.0	79.1	71.3	6	着陸
17	15:31:44	72.6	43.1	81.9	69.3	18	着陸
18	15:37:03	76.2	45.3	81.8	71.8	10	着陸
19	15:42:11	76.1	45.7	83.9	72.7	13	着陸
20	15:47:33	73.9	44.8	81.9	70.2	15	着陸
21	16:46:31	72.0	46.5	80.9	68.8	16	着陸
最大騒音レベル [dB] 最大:76.2 最小:60.3 平均:72.4			時間帯別等価騒音レベル [dB] $L_{Aeq, d}$:46.9 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: 31.4			時間帯補正等価騒音 レベル [dB] 44.7	

表 5-2-3(6) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月5日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	13:45:36	76.9	44.7	84.7	73.3	44.7	着陸
2	13:50:40	72.2	45.5	80.6	69.4	45.5	着陸
3	13:55:26	72.8	47.7	81.2	69.2	47.7	着陸
4	13:59:34	59.3	46.5	69.0	56.0	46.5	その他
5	14:01:20	75.6	46.5	84.0	71.7	46.5	着陸
6	14:06:12	74.3	45.8	82.2	70.7	45.8	着陸
7	14:10:06	56.2	44.5	66.7	50.7	44.5	その他
8	14:11:23	77.2	44.5	83.1	74.1	44.5	着陸
9	14:12:09	55.0	44.5	65.7	51.8	44.5	地上音
10	16:47:24	74.0	43.8	82.8	70.2	43.8	着陸
11	16:48:17	53.8	43.8	67.3	51.6	43.8	地上音
最大騒音レベル [dB] 最大:77.2 最小:53.8 平均:73.2			時間帯別等価騒音レベル [dB] $L_{Aeq, d}$:45.0 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル [dB] 42.0	

表 5-2-3(7) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月6日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	07:23:20	64.3	45.4	76.6	60.8	38	その他
2	11:09:51	66.9	42.4	76.5	62.7	24	その他
3	11:13:42	70.6	44.6	77.8	65.4	17	その他
4	13:22:54	78.1	44.8	87.5	75.7	15	離陸
5	13:44:46	62.4	42.8	69.9	58.8	13	その他
6	13:48:23	54.0	42.7	67.2	49.8	56	その他
7	13:49:26	63.6	42.7	74.8	58.6	41	その他
8	13:50:22	53.8	42.8	56.6	49.6	5	その他
9	14:36:40	76.7	42.8	86.1	74.1	16	離陸
10	15:04:10	63.4	44.0	71.0	59.0	16	その他
11	15:08:32	56.6	42.3	70.0	52.0	63	その他
12	15:09:38	60.7	42.3	71.0	57.2	24	その他
13	15:10:32	54.9	42.3	64.1	49.6	28	その他
最大騒音レベル[dB] 最大:78.1 最小:53.8 平均:70.3			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:44.4 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 41.4	

表 5-2-3(8) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月8日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	09:25:40	80.3	47.7	87.2	76.8	11	離陸
2	11:45:49	74.6	44.8	82.6	70.5	16	離陸
3	11:54:55	79.4	45.2	87.3	76.2	13	離陸
4	12:06:29	81.1	44.4	88.2	77.8	11	離陸
5	12:15:51	74.1	44.9	82.8	71.0	15	離陸
6	12:28:06	58.7	44.4	69.2	54.3	31	その他
7	12:40:09	66.6	44.3	74.0	61.9	16	その他
8	13:20:49	77.4	45.3	84.2	73.4	12	離陸
9	13:25:41	78.8	45.3	85.6	75.1	11	離陸
10	13:30:47	77.8	44.9	85.0	73.3	15	離陸
11	13:35:52	76.7	44.5	84.4	72.7	15	離陸
12	13:40:58	76.7	45.1	84.0	72.2	15	離陸
13	13:45:49	77.6	43.5	85.2	74.4	12	離陸
14	13:50:52	76.1	47.3	84.5	73.0	14	離陸
15	13:55:44	74.6	47.6	85.3	71.4	24	離陸
16	14:17:13	77.5	45.1	85.5	73.7	15	離陸
17	14:22:12	81.4	45.3	88.2	77.8	11	離陸
18	14:31:48	77.7	46.2	85.2	74.0	13	離陸
19	14:37:04	76.9	47.2	86.1	73.8	17	離陸
20	14:42:14	78.3	47.2	85.7	74.3	14	離陸
21	14:47:23	75.2	46.4	83.8	71.8	16	離陸
22	14:52:48	77.4	45.2	85.7	73.6	16	離陸
最大騒音レベル[dB] 最大:81.4 最小:58.7 平均:77.6			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:52.3 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 49.3	

表 5-2-3(9) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月9日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	13:50:47	63.1	45.5	68.9	58.4	11	その他
2	13:52:16	77.8	46.1	85.8	75.0	12	着陸
3	13:57:45	74.3	48.2	82.0	70.2	15	着陸
4	14:03:01	73.7	43.5	81.4	70.3	13	着陸
5	14:08:41	73.9	43.4	81.6	70.4	13	着陸
6	14:14:13	73.1	42.5	81.0	69.6	14	着陸
7	14:19:20	73.9	44.1	81.5	69.5	16	着陸
8	14:24:30	79.4	44.7	82.6	77.8	3	着陸
9	14:29:53	74.8	44.0	82.2	71.0	13	着陸
10	14:35:07	73.9	42.5	81.5	70.7	12	着陸
11	14:56:48	73.1	42.9	81.3	69.9	14	着陸
12	15:00:25	52.3	41.9	66.2	49.2	50	その他
13	15:02:06	73.5	41.9	81.4	69.3	16	着陸
14	15:07:55	73.8	43.3	81.4	70.3	13	着陸
15	15:13:25	76.0	44.5	83.4	72.6	12	着陸
16	15:18:52	73.4	43.9	81.5	70.0	14	着陸
17	15:24:09	72.7	42.7	81.1	68.6	18	着陸
18	15:28:50	55.4	45.0	65.4	52.4	20	その他
19	15:30:17	73.4	44.9	81.6	69.8	15	着陸
最大騒音レベル[dB] 最大:79.4 最小:52.3 平均:74.1			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$:47.9 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 44.8	

表 5-2-3(10) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月10日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	15:04:15	54.7	42.2	62.1	50.9	13	その他
2	15:04:28	58.8	42.2	63.4	54.9	7	その他
3	15:05:56	75.0	42.5	83.0	71.5	14	着陸
4	15:11:15	75.8	42.6	84.0	73.2	12	着陸
5	15:16:21	73.6	43.3	81.9	69.8	16	着陸
6	15:22:26	76.0	42.1	81.7	71.3	11	着陸
7	15:27:48	70.9	42.4	80.2	67.6	18	着陸
8	15:33:10	73.5	44.9	80.7	69.5	13	着陸
9	15:49:10	57.6	43.0	67.5	52.3	33	その他
10	15:50:41	74.9	43.0	81.8	71.0	12	着陸
11	15:54:06	53.8	42.8	63.5	49.5	25	その他
12	15:55:57	78.5	42.8	82.5	75.5	5	着陸
13	16:01:05	76.2	44.8	84.3	74.3	10	着陸
14	16:06:22	71.4	45.2	81.1	68.1	20	着陸
15	16:11:31	73.7	45.1	82.1	70.3	15	着陸
16	16:16:43	76.5	46.1	85.6	73.8	15	着陸
17	16:49:25	73.3	43.5	82.8	69.8	20	着陸
18	16:50:10	59.9	43.7	70.0	55.6	28	地上音
最大騒音レベル[dB] 最大:78.5 最小:53.8 平均:73.6			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$: 47.5 $L_{Aeq, e}$: - $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 44.5	

表 5-2-3(11) 日別航空機騒音調査結果

調査年月日：令和7年12月11日
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

No.	最大騒音レベル 発生時刻	最大騒音レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	暗騒音 $L_{A90, 10min}$ [dB]	単発騒音 暴露レベル L_{AE} [dB]	短時間平均 騒音レベル $L_{Aeq, T}$ [dB]	継続 時間[S]	離着陸 区分
1	20:38:59	84.2	48.8	91.3	80.9	11	離陸
2	20:44:03	78.2	44.8	86.6	74.5	16	離陸
3	20:49:19	76.5	46.3	85.7	74.2	14	離陸
4	20:54:16	72.7	44.8	81.9	68.9	20	離陸
最大騒音レベル[dB] 最大:84.2 最小:72.7 平均:79.9			時間帯別等価騒音レベル[dB] $L_{Aeq, d}$: - $L_{Aeq, e}$: 53.4 $L_{Aeq, n}$: -			時間帯補正等価騒音 レベル[dB] 49.3	

(4) 調査期間中の時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) 及び WECPNL

五本松小学校屋上における調査期間中の時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) 及び WECPNL は表 5-2-4 に示すとおりである。

航空機騒音に係る環境基準の評価量である時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) での評価を行った。五本松小学校屋上における令和 6 年 11 月 25 日～令和 6 年 12 月 8 日 (連続 14 日間) の L_{den} は「45.5dB」であった。旧環境基準の評価量である加重等価平均感覚騒音レベル (WECPNL) は「60.6」であり、 L_{den} との差分は「15.1」となった。

五本松小学校が位置する調査地点は、航空機騒音に係る環境基準の地域類型 I が適用されており、環境基準値 (57dB 以下) との比較では下回っている状況であった。

表 5-2-4 時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) 及び WECPNL

期間：令和7年11月28日～令和7年12月11日（14日間連続）
 調査地点：鎌ヶ谷市立五本松小学校

測定日	時間帯別騒音発生回数（回）					最大騒音 レベル $L_{A, Smax}$ [dB]	時間帯別 等価騒音 レベル $L_{Aeq, d}$ [dB]	総合騒音 $L_{Aeq, T}$ [dB]	時間帯補正 等価騒音 レベル L_{den} [dB]	加重等価平均 感覚騒音 レベル [WECPNL]
	夜間 0～7時	昼間 7～19時	夕方 19～22時	夜間 22～24時	合計					
11/28(金)	0	6	0	0	6	平均 74.0 最大 78.4 最小 55.4	$L_{Aeq, d}$ 43.6 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	53.4	40.6	54.8
11/29(土)	0	0	0	0	0	平均 ---- 最大 ---- 最小 ----	$L_{Aeq, d}$ - $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	51.8	—	0.0
11/30(日)	0	0	0	0	0	平均 ---- 最大 ---- 最小 ----	$L_{Aeq, d}$ - $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	54.3	—	0.0
12/1(月)	0	18	0	0	18	平均 77.1 最大 80.1 最小 74.1	$L_{Aeq, d}$ 51.8 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	54.6	48.7	62.7
12/2(火)	3	17	0	0	20	平均 75.1 最大 79.2 最小 57.5	$L_{Aeq, d}$ 49.5 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ 31.9	54.4	47.0	64.9
12/3(水)	0	18	4	0	22	平均 75.5 最大 83.5 最小 59.8	$L_{Aeq, d}$ 50.4 $L_{Aeq, e}$ 47.5 $L_{Aeq, n}$ -	56.0	48.9	63.2
12/4(木)	2	19	0	0	21	平均 72.4 最大 76.2 最小 60.3	$L_{Aeq, d}$ 46.9 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ 31.4	57.7	44.7	61.4
12/5(金)	0	11	0	0	11	平均 73.2 最大 77.2 最小 53.8	$L_{Aeq, d}$ 45.0 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	51.2	42.0	56.6
12/6(土)	0	13	0	0	13	平均 70.3 最大 78.1 最小 53.8	$L_{Aeq, d}$ 44.4 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	54.0	41.4	54.4
12/7(日)	0	0	0	0	0	平均 ---- 最大 ---- 最小 ----	$L_{Aeq, d}$ - $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	52.8	—	0.0
12/8(月)	0	22	0	0	22	平均 77.6 最大 81.4 最小 58.7	$L_{Aeq, d}$ 52.3 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	55.5	49.3	64.0
12/9(火)	0	19	0	0	19	平均 74.1 最大 79.4 最小 52.3	$L_{Aeq, d}$ 47.9 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	57.4	44.8	59.9
12/10(水)	0	18	0	0	18	平均 73.6 最大 78.5 最小 53.8	$L_{Aeq, d}$ 47.5 $L_{Aeq, e}$ - $L_{Aeq, n}$ -	53.8	44.5	59.2
12/11(木)	0	0	4	0	4	平均 79.9 最大 84.2 最小 72.7	$L_{Aeq, d}$ - $L_{Aeq, e}$ 53.4 $L_{Aeq, n}$ -	55.7	49.3	63.7
合計	5	161	8	0	174					
平均	0.4	11.5	0.6	0.0	12.4	75.2	$L_{Aeq, d}$ 47.4 $L_{Aeq, e}$ 42.9 $L_{Aeq, n}$ 23.2	54.9	45.5	60.6
最大	3	22	4	0	22	84.2	$L_{Aeq, d}$ 52.3 $L_{Aeq, e}$ 53.4 $L_{Aeq, n}$ 31.9	57.7	49.3	64.9
最小	0	0	0	0	0	—	—	51.2	—	0.0

資料編

資料 1 航空機騒音調査状況写真



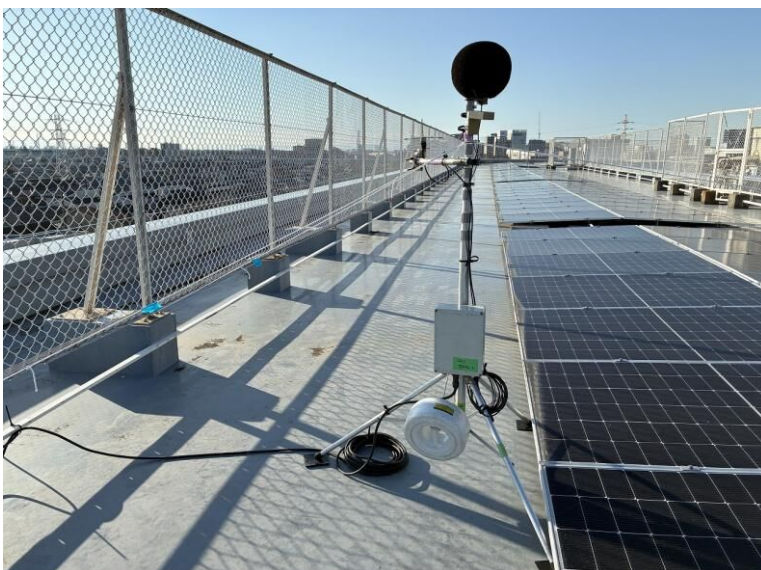
No.F001

工種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
五本松小学校屋上 機器設置前全景	



No.F002

工種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
五本松小学校 家庭科室 電源供給用壁コンセント	



No.F003

工種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
センサースタンド設置状況 マイクロホン及び航空機接近 検知識別装置	



No.F004

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
航空機騒音自動測定器 DL-100/LE	



No.F005

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
調査期間开始前 機器設置作業 (音響校正器による 確認作業)	



No.F006

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
航空機騒音測定器 本体収納状況	



No.F007

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年11月26日
設置状況全景	



No.F008

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年12月3日
巡回時、測定器動作確認	



No.F009

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年12月3日
巡回時、機器設置状況確認	



No.F010

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年12月5日
代替器、機器設置状況	



No.F011

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年12月12日
調査期間終了後 機器撤収作業 (音響校正器による 確認作業)	



No.F012

工 種	令和7年度 下総飛行場周辺航空機 騒音実態調査業務委託
測 点	五本松小学校
作業日	令和7年12月12日
機器撤収完了 (家庭科室)	



No.F013

令和7年度
工種 下総飛行場周辺航空機
騒音実態調査業務委託

測点 五本松小学校

作業日 令和7年12月12日

機器撤収完了
(屋上)

資料2 航空機騒音に係る環境基準

航空機騒音に係る環境基準について

[ホーム](#) > [環境基準・法令等](#) > [環境基準](#) > 航空機騒音に係る環境基準について

(昭和48.12.27 環境庁告示第154号)

改正 平5環告91

改正 平12環告78

改正 平成19年環告114

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

第1 環境基準

1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
I	57デシベル以下
II	62デシベル以下

(注) I をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、II をあてはめる地域は I 以外の地域であつて通常の生活を保全する必要がある地域とする。

2 1の環境基準の基準値は、次の方法により測定・評価した場合における値とする。

- 測定は、原則として連続7日間行い、騒音レベルの最大値が暗騒音より10デシベル以上大きい航空機騒音について、単発騒音暴露レベル（L_{AE}）を計測する。なお、単発騒音暴露レベルの求め方については、日本工業規格 Z 8731に従うものとする。
- 測定は、屋外で行うものとし、その測定点としては、当該地域の航空機騒音を代表すると認められる地点を選定するものとする。
- 測定時期としては、航空機の飛行状況及び風向等の気象条件を考慮して、測定点における航空機騒音を代表すると認められる時期を選定するものとする。
- 評価は算式アにより1日（午前0時から午後12時まで）ごとの時間帯補正等価騒音レベル（L_{den}）を算出し、全測定日のL_{den}について、算式イによりパワー平均を算出するものとする。

算式ア

$$10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej} + 5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk} + 10}{10}} \right) \right\}$$

(注) i、j 及び k とは、各時間帯で観測標本の i 番目、j 番目及び k 番目をいい、L_{AE,di} とは、午前7時から午後7時までの時間帯における i 番目のL_{AE}、L_{AE,ej} とは、午後7時から午後10時までの時間帯における j 番目のL_{AE}、L_{AE,nk} とは、午前0時か

ら午前7時まで及び午後10時から午後12時までの時間帯におけるk番目の L_{AE} をいう。また、 T_0 とは、規準化時間（1秒）をいい、 T とは、観測1日の時間（86,400秒）をいう。

算式イ

$$10 \log_{10} \left(\frac{1}{N} \sum_i 10^{\frac{L_{den,i}}{10}} \right)$$

(注) N とは、測定日数をいい、 $L_{den,i}$ とは、測定日のうち*i*日目の測定日の L_{den} をいう。

(5) 測定は、計量法（平成4年法律第51号）第71条の条件に合格した騒音計を用いて行うものとする。この場合において、周波数補正回路はA特性を、動特性は遅い動特性（SLOW）を用いることとする。

3 1の環境基準は、1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場であって、警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場並びに離島にある飛行場の周辺地域には適用しないものとする。

第2 達成期間等

1 環境基準は、公共用飛行場等の周辺地域においては、飛行場の区分ごとに次表の達成期間の欄に掲げる期間で達成され、又は維持されるものとする。この場合において、達成期間が5年をこえる地域においては、中間的に同表の改善目標の欄に掲げる目標を達成しつつ、段階的に環境基準が達成されるようにするものとする。

飛行場の区分		達成期間	改善目標	
新設飛行場		直ちに	—	
既設飛行場	第三種空港及びこれに準ずるもの		—	
	第二種空港(福岡空港を除く。)	A	5年以内	—
		B	10年以内	5年以内に、70デシベル未満とすること又は70デシベル以上の地域において屋内で50デシベル以下とすること。
	成田国際空港			
第一種空港（成田国際空港を除く。）及び福岡空港		10年をこえる期間内に可及的速やかに	1 5年以内に、70デシベル未満とすること又は70デシベル以上の地域において屋内で50デシベル以下とすること。 2 10年以内に、62デシベル未満とすること又は62デシベル以上の地域において屋内で47デシベル以下とすること。	

備考

1 既設飛行場の区分は、環境基準が定められた日における区分とする。

- 2 第二種空港のうち、Bとはターボジェット発動機を有する航空機が定期航空運送事業として離着陸するものをいい、AとはBを除くものをいう。
 - 3 達成期間の欄に掲げる期間及び各改善目標を達成するための期間は、環境基準が定められた日から起算する。
-
- 2 自衛隊等が使用する飛行場の周辺地域においては、平均的な離着陸回数及び機種並びに人家の密集度を勘案し、当該飛行場と類似の条件にある前項の表の飛行場の区分に準じて環境基準が達成され、又は維持されるように努めるものとする。
 - 3 航空機騒音の防止のための施策を総合的に講じても、1の達成期間で環境基準を達成することが困難と考えられる地域においては、当該地域に引き続き居住を希望する者に対し家屋の防音工事等を行うことにより環境基準が達成された場合と同等の屋内環境が保持されるようにするとともに、極力環境基準の速やかな達成を期するものとする。

資料3 航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定

航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定

昭和 53 年 8 月 29 日 千葉県告示第 695 号
 改正 平成 3 年 11 月 29 日 千葉県告示第 1017 号
 改正 平成 8 年 4 月 1 日 千葉県告示第 441 号
 改正 平成 13 年 5 月 11 日 千葉県告示第 592 号
 改正 平成 25 年 2 月 22 日 千葉県告示第 70 号
 改正 平成 30 年 3 月 23 日 千葉県告示第 132 号

環境基本法（平成 5 年法律第 9 1 号）第 1 6 条第 2 項の規定により航空機騒音に係る環境基準（昭和 4 8 年環境庁告示第 1 5 4 号）の地域の類型ごとに指定する地域を次のとおり定める。

地域指定

地域の類型	該 当 地 域
I	別表第 1 に掲げる区域のうち、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 8 条第 1 項第 1 号の規定により定められた第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域及び田園住居地域並びに同号に規定する用途地域の定められていない地域のうち別表第 2 に掲げる工業団地を除いた地域
II	別表第 1 に掲げる区域のうち、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の規定により定められた近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域並びに別表第 2 に掲げる工業団地

別表第 1

飛行場名	区 域
成田国際空港	成田市、富里市及び山武市並びに印旛郡栄町、香取郡多古町及び山武郡横芝光町及び芝山町の全域。ただし、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の規定により定められた工業専用地域及び成田国際空港の敷地を除く。
東京国際空港 及び 木更津飛行場	木更津市及び君津市の全域。 ただし、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の規定により定められた工業専用地域及び木更津飛行場の敷地を除く。
下総飛行場	船橋市、柏市、鎌ヶ谷市及び白井市のうち別図第 1 に表示する実線によって囲まれた地域。ただし、都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号の規定により定められた工業専用地域及び下総飛行場の敷地を除く。

備考 別図第 1 は省略し、千葉県環境生活部大気保全課において縦覧に供する。

別表第 2

名 称	市町村名	区 域
富里工業団地	富里市	立沢新田、十倉及び高野のうち別図第 2 で示す部分
松尾工業団地	山武市	上横地、松尾町借毛本郷、松尾町下野及び松尾町下之郷のうち別図第 2 で示す部分
芝山工業団地 (木崎地区)	山武郡芝山町	小池のうち別図第 2 で示す部分

備考 別図第 2 は省略し、千葉県環境生活部大気保全課において縦覧に供する。

